

<基本情報①(自治体情報)>

都道府県市名	青森県		
高校入試 担当部署名	学校教育課高等学校指導グループ		
TEL	017-734-9883	FAX	017-734-8270
URL	https://www.pref.aomori.lg.jp/bunka/education/senbatsu2021.html		

<基本情報②(担当した有志の会メンバー情報)>

調査担当者名	吉田 美穂	(所属: 弘前大学教育学部多文化リソースルーム)
--------	-------	--------------------------

<全国一覧掲載情報>

I 全日制高校について				II 定時制高校について			
A.外国人生徒		B.中国帰国生徒等		C.外国人生徒		D.中国帰国生徒等	
A2.措置	A3.枠	B2.措置	B3.枠	C2.措置	C3.枠	D2.措置	D3.枠
△	×	△	×	△	×	△	×

調査した人から、関係者の皆さんへお知らせ

1.外国人生徒の高校入試などについて、近くで相談できるところ	青森県教育庁学校教育課 高等学校指導グループ 電話等での事前相談 電話 017-734-9883 NPO法人みちのく国際日本語教育センター https://michinoku-nihongo.jimdofree.com/ 弘前大学教育学部多文化リソースルーム HP開設準備中 Email: m-yoshida[at]hirosaki-u.ac.jp ([at]を@にしてください)
2.多言語による関連情報	青森県国際交流協会外国人相談窓口 http://www.kokusai-koryu.jp/foreigners/consulting-service-counter/
3.その他	青森県では、八戸市に日本語を母語としない子どもを対象に学習支援を行っているNPO法人みちのく国際日本語教育センターがあり、周辺のいくつかの市町村の学校に日本語指導員を派遣しています。弘前市の小中学校には教育委員会が日本語支援員を配置しています。また、弘前大学教育学部多文化リソースルームは、青森市などの小中学校に、日本語支援員や母語支援員を派遣しています。

I 全日制高校について

		A.外国人生徒	B.中国帰国生徒等
1.2020年度中について、外国人生徒や中国帰国生徒等の在籍の有無		有	把握せず
2-1.2021年度の一般入試において、外国人生徒もしくは中国帰国生徒等が受けられる入試特別措置の有無		△	△
2-1が有(○印)の場合その名称			
2-2.滞日年数制限		なし	なし
2-3.措置の内容		海外帰国生徒の扱いを援用している	海外帰国生徒の扱いを援用している
3-1.2021年度の入試において、外国人生徒もしくは中国帰国生徒等を対象とした特別入学枠の有無		×	×
3-1が有(○印)の場合その名称			
3-2.滞日年数制限		なし	なし
3-3.入学枠のある学校数/全学校数			
3-4.学校名			
3-5.定員	①定員内(枠内)		
	②定員外(枠外)		
3-6.特別枠の定員数は明確となっており、かつその数まで合格を認めているか(定員数内で不合格を出さない内規等があるか)			
3-7.試験内容			
備考		基準は設けていないが、外国人生徒等の受検に当たっては、可能な範囲で必要な配慮を行う。事前相談が必要。	基準は設けていないが、外国人生徒等の受検に当たっては、可能な範囲で必要な配慮を行う。事前相談が必要。

II 定時制高校について

		C.外国人生徒	D.中国帰国生徒等
1.2020年度中について、 外国人生徒や中国帰国生徒等の在籍の有無		有	把握せず
2-1.2021年度の一般入試において、 外国人生徒もしくは中国帰国生徒等が 受けられる入試特別措置の有無		△	△
2-1が有(○印)の場合その名称			
2-2.滞日年数制限		なし	なし
2-3.措置の内容		海外帰国生徒の扱いを援用している	海外帰国生徒の扱いを援用している
3-1.2021年度の入試において、外国人生徒もしくは 中国帰国生徒等を対象とした特別入学枠の有無		×	×
3-1が有(○印)の場合その名称			
3-2.滞日年数制限			
3-3.入学枠のある学校数/全学校数			
3-4.学校名			
3-5.定員	①定員内(枠内)		
	②定員外(枠外)		
3-6.特別枠の定員数は明確となっており、かつその 数まで合格を認めているか (定員数内で不合格を出さない内規等があるか)			
3-7.試験内容			
備考		基準は設けていないが、外国人生徒等の受検に 当たっては、可能な範囲で必要な配慮を行う。事 前相談が必要。	基準は設けていないが、外国人生徒等の受検に 当たっては、可能な範囲で必要な配慮を行う。事 前相談が必要。

Ⅲ 高校入学後の状況

1.日本語指導が必要な生徒に対して、入学後の日本語や教科の支援(補習等)にかかわる当該自治体の施策の有無	無
2.有の場合、その施策の内容	県の施策ではないが、弘前大学の全面協力の下、該当生徒の支援員等により日本語指導等のサポートを得られている。
3.2020年度の入試について、直接来日後の外国籍の受験者(外国において、学校教育における9年の課程を修了した者)の有無	有(1名)
4.2019年度中に、直接来日後による編入学者の有無	無

Ⅳ 日本国内にある外国人学校からの入学について

	↓記入欄	備考
1-1.各種学校の認可を得た外国人学校の中等部の卒業生について、一般の受験(受検)資格とは別に高校受験(受検)者資格を認めているか否か	△	青森県立高等学校出願資格による。(個々の状況で確認し判断する。)
1-2. 1-1で認めている場合 ①外国人学校中等部の卒業生には、そのまま他の生徒と同様に高校入学者選抜の受験(受検)を認めている(外国人学校の指定その他の条件を付している場合はその条件を記載) ②学校教育法施行規則第95条第5項に定める「中学校を卒業したものと同等以上の学力」があるかどうかの確認を、中卒認定試験・外国人特別入試等とは別途、高校入試に先立って行っている。 ③上記②を実施しておらず、外国人特別入試等を実施し、この合格をもって学校教育法施行規則第95条第5項に定める「中学校を卒業したものと同等以上の学力」があるかどうかの確認としている。 ④その他(方法を備考欄に記入)	①	
2-1.各種学校ではないが、本国政府の認可を得た外国人学校の中等部の卒業生について、一般の受験(受検)資格とは別に高校受験(受検)者資格を認めているか否か	△	青森県立高等学校出願資格による。(個々の状況で確認し判断する。)
2-2. 2-1で認めている場合 ①外国人学校中等部の卒業生には、そのまま他の生徒と同様に高校入学者選抜の受験(受検)を認めている(外国人学校の指定その他の条件を付している場合はその条件を記載) ②学校教育法施行規則第95条第5項に定める「中学校を卒業したものと同等以上の学力」があるかどうかの確認を、中卒認定試験・外国人特別入試等とは別途、高校入試に先立って行っている。 ③上記②を実施しておらず、外国人特別入試等を実施し、この合格をもって学校教育法施行規則第95条第5項に定める「中学校を卒業したものと同等以上の学力」があるかどうかの確認としている。 ④その他(方法を備考欄に記入)	①	
3.上記のⅠⅡ特別措置と入学校での滞日年数制限について、日本国内にある外国人学校の在籍期間は、日本での在住期間に含むか否か		
4.外国人学校中等部の卒業生について、2020年度入試において受験(受検)希望があったか		×